ガバナー月信

2013-2014年度　RIテーマ

ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を

Engage Rotary, Change Lives

ロータリーを実践し

みんなに豊かな人生を

Governor's Monthly Letter

2014.3
第9号

3月は識字率向上月間



ガバナーあいさつ …… 2
識字率向上月間によせて …… 3
日台親善会議 …… 4
RYLA研修会 …… 6
ロータリー財団奨学生の報告 …… 7
さいたま大空RC誕生秘話 …… 8
クラブ研修リーダーセミナー報告 …… 12
地区チーム研修セミナー報告 …… 13
青少年交換派遣学生報告 …… 14
IM報告／6G、4G、1・2G …… 17
クラブ事業／越谷北RC、川口東RC …… 20
寄付者等報告／文庫通信 …… 22
会員数及び出席率 …… 24

国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063　埼玉県さいたま市浦和区高砂1-2-1-116エイペックスタワー東館1階

TEL：048-827-0022　FAX：048-827-0011　E-mail：ri2770@ri2770.com



識字率向上月間にちなんで

2013−14 年度ガバナー　渡邊 和良

ロータリー年度も後半に入り、会長・幹事そして会員の皆様には、プロジェクトの総仕上げの段階に入ってきているものと思います。年初に計画して頂いた各委員会の年度計画書の進捗状況はいかがでしょうか？会員増強の目標数値、財団・米山記念奨学金にたいする寄付額につきましても、今一度、数字を見直し、目標達成に向かって更なるご尽力をお願い申し上げます。

さて、今月は、識字率向上月間です。識字率とは、ご存知の通り、文字の読み書きが出来る人の割合をさすもので、ユネスコでは、「15歳以上の人口に対する日常生活の簡単な読み書きのできる人口の割合」と解説しております。

下の世界地図をご覧下さい。これは、世界の国々の識字率を色分けして表示したものです。先進国と発展途上国とで識字率の高低が、重なる部分があるのは勿論、世界の紛争地域において識字率が低くなっていることも読み取れます。成人人口のうち、約10億人は、文字を読むことができないと推定されています。そして、その３分の２が女性です。読み書きができない理由は、学校に通うべき年齢で教育を受ける機会がなかった、近くに学校がない、女の子は学校に通う必要がないという社会通念がある、先生の人数が足りない、などが挙げられるようです。

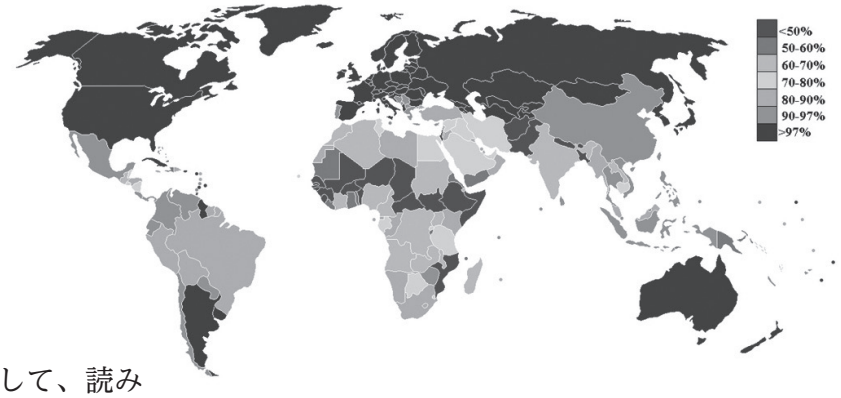
では、実際に読み書きができないと、どんな不都合があるでしょうか。必要な情報が手に入らないため、意見や要求を書面で伝えることができません。社会的な権利が大幅に制約され、本人ばかりではなく、国や地域発展にとっても大変な不利益となります。

識字社会では、内戦も少なく、経済発展もより速やかであると言われております。読み書き能力のある人々の方が、地域社会の健康問題について認識しているため、一般的により健康だと言えます。そして、読み書きと簡単な計算を行う能力は、教育的、社会的、経済的機会への扉を開く可能性につながります。

国際ロータリーでは、非識字撲滅が、世界から飢餓を無くし、貧困から人々を救う最重要課題であると位置づけており、1986年以来、識字率向上を強調事項としております。地域の識字水準が、その地域の生活水準に直結するという観点から、この月間中に、読み書き・計算のできない人たちを援助するために、ロータリー地域社会共同体・ローターアクトクラブ・インターアクトクラブ・世界社会奉仕・ロータリーボランティア・その他の既存プログラムを通して、識字率向上に取り組んでいます。

当2770地区内ロータリークラブにおきましても、海外に書籍を送る、辞書の寄贈、学校建設、学生寮支援、通学自転車寄贈、給食費支援、衣服の贈呈、など、識字率を高めることにかかわる活動を積極的に行ってまいりました。

私たちロータリアンは、識字率向上月間という機会に、全ての人が読み書きができるようになるためにはどうしたらよいか、どんな支援ができるかなどについて、もう一度良く考えて頂きたいと思います。



『識字率向上月間』によせて



管理運営部門委員長　宮澤 英修（鴻巣 RC）

世界では、推定８億人から10億人の成人が読み書きができないと言われています。私たちにとってあたりまえの日常生活で必要な「読み・書き・計算」ができる能力のことを「識字」と言います。

現在、地球上の成人の5人に1人は読み書きができないと言われており、その3分の2は女性です。読み書きができないと、必要な情報を手に入れることができず不利益を被るばかりか、意思や要求を書面で伝えられず社会的な権利が大幅に制約されます。本人ばかりでなく、国や地域の発展にとっても不利益になります。

アフリカの国々は全体的に識字率が低く、アジアを見てもアフガニスタンはとても低くなっています。発展著しいインドでさえ、66％と言われています。

なぜ読み書きができない人がこんなに多いのでしょうか。そのひとつに学校へ通うべき年齢で教育を受けることができないと言う事があげられます。

国によって教育予算が少なく、授業料が無料ではない国が多くあります。貧困家庭の子どもたちや孤児は、学費を払えず、学用品を買うお金がなかったり、家計を助けるために働かなくてはならないなどの理由から、学校に通うことができない傾向にあります。また、学校の教育の質が低いため「学校に通わせる意味がない」と親が考え、通わせないケースもあります。もちろん、子どもが働かされる理由もあります。2000年以降、14の国で小学校の授業料が無料化され、生徒数が増えました。しかし、増えた生徒数に勉強を教えられるだけの学校がありません。交通手段が発達していない地域で、もっとも近い学校が何十キロも離れていたり、雨季に道路が冠水したり、通学そのものが困難な状況も多々あります。

また、途上国では、男の子の教育にお金を使う傾向があります。女の子は学校へ通えたとしても女性用トイレがなかったり、早すぎる結婚、女性教員が少ないなどの理由で学校へ通わなくなってしまうことが多々あります。そのため、世界の非識字者の3分の2が女性だと言われています。

大規模で国際的なロータリー識字プロジェクトは、1987年から1992年にかけてタイで実施され、ロータリー財団から資金提供を受けました。このプロジェクトでは、語学力強化研修講座（Concentrated Language Encounter-CLE）が使われました。プログラムは大成功を収めたため、タイ全土の全ての公立学校で採用され、他国のロータリー･クラブや地区で活用されています。

ロータリーの活動は、多岐にわたりますが是非、この事も極めて意味のある重要な活動である事をご認識頂ければ幸いでございます。

日台ロータリー親善会議に参加して

パストガバナー　吉田　豊治（越谷南 RC）



2014年１月26日台湾台北圓山大飯店において第４回日台ロータリー親善会議が行われました。

第１回は2008年５月日本の「ホテルパシフィック東京」において開催され、その後第２回は台湾中部の日月潭にて、第３回は日本の京都で開催され、２年に１度、両国で相互に開催されることになっております。

日本と台湾のロータリーは以前より姉妹地区や姉妹クラブなどを通して長年にわたり交流が行われており又、地区やクラブでは毎年相互訪問し、情報を交換し、親睦を深め友情の精神を向上させ世界の平和につながる活動をし続けてきましたが、更に一層親睦を深め強い絆を更に強固なものとする為に日台親善会議が開催され今日に到っております。

さて、今回の会議は日本側として創立よりご苦労された前川昭一第2580地区パストガバナーより板橋敏雄パストガバナーに引きつがれました。両国の主催者来賓のごあいさつ、両国の現状報告があり、特別講義として黄其光RI会長エレクトの熱のこもったお話がありました。

今回の第４回日台親善会議には日本より414名の登録があり台湾側からは300名合計714名の登録でした。日本側からの登録が多かったため会議場の関係で台湾側に参加出来ないクラブ会員が多かったようです。2770地区は渡邊ガバナー、北RI理事、６名のパストガバナーをはじめ31名の参加がありました。窓口になった2580地区をのぞいて一番多い地区でした。参加されました皆様ありがとうございました。第５回は二年後日本の金沢で開催される予定です。

日台親善会議出席報告

国際交流委員会委員長　小山　寿行（幸手 RC）



大家好！(みなさん、こんにちは！) 日台親善会議参加のご報告をさせていただきます。

2014年１月26日に第４回日台親善会議が開催されました。前回の日本の京都開催に続き、今回は台湾の台北での開催でした。開催場所は由緒あるホテル圓山大飯店。台湾らしい雰囲気の漂う歴史有るホテルです。高台のホテルの最上階12階での開催でしたので、会場入り口の通路からは台北市内が一望できました。

さて、今回2770地区からは事前登録、当日登録も含め32名ほどが会議に参加いたしました。日台親善会議の特別顧問としてご出席の北RI理事、訪台の団長を勤めていただいた吉田PDG、渡邊ガバナー、田中徹夫PDG、津田PDG、関口PDG、森田PDG、大塚PDGをはじめ多くの方々のご参加をいただき、楽しい親善会議となりました。会議に先立ち12時から２時までは友愛の家で「台湾式お茶会」が開かれておりました。受付を済ませ、パンフレット、名札、お土産（パイナップルとバック等）を受け取ってから早速お茶会に参加します。落ち着いた雰囲気に飾られた会場へ入ると、５人程が１組となりお茶席が設定されておりました。お

茶を振舞う主の役は台湾のロータリアンの奥様方。テーブル毎に違ったお茶が振舞われておりました。香りのよい台湾名産のお茶を美味しくいただきます。

さて、台湾のお茶を堪能し、台湾気分が盛り上がってきたところで、いよいよ会場入りです。58テーブル、総勢800人ほどの参加者だったでしょうか。今回の会議は出席希望が多く、無理やり会場に席を増設したそうです。そのせいで少し席がきつい感じもしましたが、その分熱気に溢れておりました。しばし待っていると台湾式の獅子舞が始まりいよいよ親善会議が始まりました。黄RI会長エレクトの祝辞を始め、日台両国の大変心温まる挨拶、報告が続き、あっという間の６時間半でした。獅子舞以外にも現代舞踏やロータリアンのサックスバンドの発表など、参加者が飽きないようにアトラクションが合間合間に設けられており、これも十二分に堪能することが出来ました。また、親睦晩餐会では大好きな台湾ビールと紹興酒を美味しい料理と共にいただきました。料理も美味しかったのですが、台湾の友人や2770地区の仲間との会話が最高の「つまみ」だったことは言うまでもありません。文才が無く上手く表現できないのがもどかしい限りですが、暖かい両国の友情と、これからもこうした関係が続いていくであろう熱気を感じた日台親善会議でした。

また、非公式行事ですが親善会議前日には、2770地区有志26名で台湾料理を食べながらの懇親会も行いました。津田PDGがお誕生日ということで乾杯して懇親会スタート。この懇親会も、ご報告「ネタ」の多い楽しい会でした。残念ながら今回は文字数の関係がありますので、また何かの機会にご報告させていただければと思います。

最後になりますが、渡邊ガバナーは親善会議以外にも個人で台北のクラブ例会にメーキャップに行かれており、我々以上に交流を楽しんでいらっしゃったことをご報告して結びと致します。再見！



日台親善会議会場の様子



故宮観光



津田ＰＧ誕生日お祝いの乾杯



財団管理委員 小沢一彦様と北Ｒ Ｉ理事

RYLA研修会（熊本県阿蘇市）



新世代（青少年）奉仕部門　RYLA委員長　染谷良雄
（吉川RC）

２月11日「川口市民ホール（フレンディア）」で10：30～16：00までRYLA事前研修会が開催。

渡邊和良ガバナー、濱野英美ガバナーエレクト、井原實ガバナーノミニー、新世代（青少年）奉仕部門担当諮問、中村靖治PDG、遊馬久治部門委員長、RYLA派遣クラブ担当者、RYLA研修生と、多くのご参加のもと、ガバナーのご挨拶をいただき、研修会の流れを説明し、ご講演に「ロータリーについて」担当諮問中村靖治PDGより、ご指導を賜り研修生にとって、ロータリーを理解されたことと思います。

RYLA事前研修テーマ

グループ討議については下記より一つ選択し討議してください。

グループ討議　①

2020年東京オリンピック開催に於いてボランティア活動求められたら場合、何を。
その理由は？

グループ討議　②

東日本震災から、間もなく３年が経とうとしていますが、今、貴方は最も効果的な奉仕活動を行うとした場合何を。具体的に討論してください。

グループ討議　③

貴方が気になる環境問題。

テーブルごとにセッションリーダー、発表者を推薦され、上記テーマの中から一つ選び、55分間の討論設定いたしましたが時間が足らず15分ほど超過する熱の入った討論会でした。その後、討論内容を纏めていただき７分間の発表で終了となりました、結果については、まとまり次第ご報告申し上げます。

研修生の皆様、引率されますロータリアンの方、熊本県阿蘇でお会い致しましょう。





ロータリー財団奨学生からのお便り

ロータリー財団奨学生　関　理佐

ロータリークラブの皆様、お元気ですか。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。昨年は留学のための準備や出国をはじめ本当に様々なことがあり、とても充実した１年間を過ごすことが出来ました。偏にロータリークラブの皆様の温かい御支援のおかげだと感謝しております。残りの留学生活をより有意義に過ごすことが出来るよう、引き続き気を緩めず励んで参ります。

さて、こちらは１月の中旬から春学期が始まりました。秋学期には“舞台芸術に関するフェミニズム”や“社会や文化におけるダンス”といった授業を受講しておりましたが、今期はいよいよ経済学部の中のアートマネジメントのクラスが始まり、より実践的なことを学んでおります。実際にイベントを企画するにはどうしたら良いのか、何に注意しなければならないのか、といったテーマを基に講義を受け、その後グループになって仮想のイベントを企画するなどしています。経済学部での授業はこれまでと雰囲気が異なる上、先生も早口なので毎回緊張と不安を抱えながらではありますが、少しでも多くのことを吸収できるように頑張ります。

私は今回が初めての英国ではなかったので始めから大きなカルチャーショックを受けることがなかったものの、珍しい食べ物や可愛らしいカフェなど目新しく感じていた初めの数か月に比べると、最近はすっかりルーティーンな生活になりました。そんな中、今一番驚いていることはストライキの多さです。バスや電車がストライキの為に運休になるということは以前から聞いておりましたが、教師によるストライキの為に授業が急遽休講になることが頻繁にあります。それも２～３時間だけの短いものが多く、例えば前半の講義はストライキの時間内なので行わないけれど後半のディスカッションはストライキ後になる為途中から来るように指示され混乱したこともありました。その都度教師のストライキへの対応が違う上、その知らせが生徒へ事前に来ることが殆どないのでこのストライキに悩まされています。テスト週間や、“Reading Week”と言って授業がない週があることを踏まえると、ただでさえ限られた授業数であるのにこんなにも頻繁に授業を休講していて良いのだろうか・・・と疑問にすら思ってしまいます。真面目な日本では考えられないことです。

最後にバレエについて少しだけ御報告致します。今学期も前期同様、座学に加えてバレエの実技の授業やクラブ活動にて変わらずレッスンに努めております。前期で教えて下さっていた先生が上の学年の担当へ移られたのですが、その際そちらの授業も参加しないかと声をかけて頂き、単位にはカウントされないものの予定よりも多く受講することが出来ています。更に、クラブ活動のレッスンを受けていたところ、とある振付者からスカウトして頂き、春に舞台に立つことになりました。それもRoyal Academy of Musicという王立音楽院とのコラボ企画ということで、私たちのグループはトランペットとチェロの生演奏で踊る予定だそうです。学校内のダンスの行事へ参加しようか迷っていたところでしたが、それとは比べ物にならない素晴らしい企画だという声に後押しされ、参加を決めました。先日リハーサルが始まったばかりですが、既に多くの刺激を受けています。こんなにも貴重な体験は望んでも出来るものではないので、このような機会が巡ってきたことに驚きと感謝でいっぱいです。この本番後すぐに日本へ帰国する予定なので、帰国後は皆様にアートマネジメント等勉強した事柄に加え、こちらの御報告も出来たらと思います。

日本は今年もインフルエンザの流行で大変のようですね。更に20年に一度の大雪というニュースも拝見しました。次回報告のレポートを送る頃には少し春が感じられる位に暖かくなっていることでしょう。どうぞ皆様お元気で。





拡大の道標・2

財団・米山学友クラブ「さいたま大空ロータリークラブ」誕生秘話

2770地区が生んだ新しい拡大が２つある。
昨年度は、女性を中心にした「埼玉ゆずロータリークラブ」を創った。
これを「これからの拡大の道標・１」として、昨年度のガバナー月信６月号に紹介した。
次は「拡大の道標・２で」ある。今年度は学友のクラブ、「さいたま大空ロータリークラブ」を創った。
入会金は無し、年会費は６万円である。例会場は大宮シティＲＣの事務局の会議室。
ロータリー財団学友・米山記念奨学学友を一緒にできたのは、国際ロータリー史上、初の快挙である。
ここには、「これはムリだろう」といわれたことを成し遂げた人々の熱き想いがある。
この誕生秘話は、どうしても紹介しておきたいロータリーの未来戦略なのである。



お話しを聞いたのは全部で10人。前列左から特別代表の恵川一成氏、渡邊和良ガバナー、田村亮夫クラブ拡大特別委員長。代表責任者。後列は左から、拡大補佐の遊馬久治氏、中里公造氏、植野正裕氏。
続いて、チャーターメンバーの李成哲会長（リセイテツ・中国）、李芝善奉仕委員長（イージソン・韓国）、倉金由幸会長エレクト（日本）。拡大補佐の泉谷聡氏はあいにく出張中だったので、電話で参加した。
構想６年。やっとここまでこぎつけた皆さまお疲れ様でした。ここからＲＩの新しい歴史が刻まれるのです。


ボーイスカウトの子供たちとの交流。子供たちはロータリーを知り、外国人との交流から世界も知る。

■今までの学友ロータリークラブの誕生の背景
① 神奈川湘南 RC(財団学友)2004 年認証
② 大阪ネクスト RC(財団学友)2007 年認証
③ 中部名古屋みらい RC(財団学友)2009 年認証
④ 福島グローバル RC(財団学友)2009 年認証
⑤ 東京米山友愛 RC(米山学友)2010 年認証
⑥ 東京米山ロータリーEクラブ 2750(米山学友)2012 年認証
という学友のクラブが誕生。この度の「さいたま大空」が日本で 7 番目の学友 RC になります。財団・米山両方の学友からなるロータリークラブは日本初の快挙です。

■ 2770 地区の学友クラブアクション
2008−9 年度の岩渕年度での取り組みが最初になります。しかし決断と実行が整わずに時間切れになりました。当時の設立の条件である 25 名というハードルが財団学友だけでは難しかったのです。また 2011−12 年度の三國年度でも、やはり時間切れになった背景があります。しかしこういう長きに亘る挑戦の歴史が、土壌を耕し、失敗体験からも多くを学び、12−13 田中年度、13−14 渡邊年度をまたいだプロジェクトとして、花が開きました。

決断し、実行しなければ、決断しなかったと同じこと。

田村亮夫クラブ拡大特別委員長。

●「固い決意と共に・さらなる挑戦・未来への道」この理念に基づき、そして「今だからこそ、変化を恐れない」、時代に合わせた変容を遂げていくことが私たちロータリアンの根底にあります。
●ロータリーの増強の大きな可能性は、女性と、若者の獲得です。既存のクラブがこの方たちの増強をめざすのはとても大事なことです。
一方では、「女性・若者のクラブを、女性・若者仕様でつくり、拡大をする」という未来戦略も重要です。
●それをいかに遣りあげるかが未来への使命だと考えました。「決断し実行しなければ、決断しなかったと同じこと」です。しかし一人ではできない。そこで米山学友関係は恵川さんを軸に、財団学友関係は泉谷さんを軸にし、それぞれ 8 名ずつ 16 名のスペシャリストを集め、2013 年 3 月 19 日クラブ拡大特別委員会を立ち上げ、この拡大を成し遂げました。
●女性の「ゆず」は、構想から 10 年。学友の「大空」は、構想から 6 年かけて、紆余曲折の労苦の中から新しい芽が誕生しました。ここには皆さまの大きなエネルギーの消耗がありました。心から感謝を申し上げます。
●ロータリー財団はＲＩの範疇にあり、米山記念奨学会は日本独自のものです。このまったく異なる 2 つをＲＩと折衝しながら承諾を得るという仕事は、大きな壁の連続でした。この困難はここでは割愛しますが、2013 年 11 月 25 日に悲願の認証を勝ち取ることができました。ここに道が拓けたのです。
●先陣を切って新しい活路を突破でき、これからは多くの地区で、財団・米山学友の RC への道標ができたことに、今、感慨を覚えています。

垣根を越える、垣根を取り払う。

恵川一成クラブ拡大特別代表

●田村拡大特別委員長の強い想いと、リーダーシップがあったことが、この拡大の大きな成功要因です。「今までも無理だったのだから、これはとても…」という思いがありましたし、財団と学友のそれぞれの文化の違いもあります。そして16人の拡大補佐の多種多様な考え方もある。これらの多様性を調和させるというのが、私達の仕事でした。
●まずは財団と米山、別々に説明をする段階を踏んで、あとから合流していきました。「垣根を越える、垣根を取り払う」。出来ないものを出来るようにするのが仕事です。
●目的は、学友を主体としたクラブです。目標は、16人の拡大補佐が、最適な学友を最低一人見つけることとしました。拡大を成すとは、志の高い人を必要数集めることからはじまりました。こういう強い想いの下に、私たちは結集しました。
●いちばんネックになったのが会費と例会場です。彼らの多くは新入社員ですから、経済的な問題や時間的な問題をクリアしなければなりません。例会場は大宮シティRCの事務局会議室に決定し定例会は土曜の19時（第2土曜は朝9時）。入会金は無しで、年会費6万円に決定しました。

着眼点が成功の秘訣でした。

泉谷聡クラブ拡大補佐

●今回やっとこの拡大が成功しました。この成功の秘訣は着眼点にあったと思います。ロータリー財団の学友でGSE・VTTの学友は、2週間とか1ヶ月の海外経験しかない人もいます。そういう人達も仲間に加え、その担当となるロータリアンも拡大補佐に選んだ、この着眼点が成功要因です。
●さらに米山の学友も加えていく。新しい考え方だったので、ＲＩの認証を得る交渉は困難を極めましたが、財団・米山の学友が一緒という発想は、人数の確保のためでだけでなく、ロータリーの未来のために素晴らしいことです。この「緻密な方程式」があったから、未来に活路を拓けたと思います。
●そして2014年3月23日が認証状伝達式です。この新しいモデルの誕生を、皆さまと一緒に祝いたいと思います。
●そして例会にも足を運んでいただき、そのアフターでは、若い学友ロータリアンと奉仕を語る機会を持つことも新しいコミュニティになるのではないかと思います。いずれにしてもここからがスタートです。2770地区の皆さまと共に、見守り、語り、育てて行きたいと思います。

難しさを知っていた事が、活きました。

植野正裕クラブ拡大補佐

●私は2008−9年から携わってきましたので、もう6年の取り組みになります。設立メンバーを集めるというのが本当に難しい。いったんはその気になっても、海外赴任などが決まったりで、固定した人数がなかなか確保できませんでした。
●今回は、交換留学生の学友にとどまらず、ＶＴＴ経験者などにも門戸を広げ、そこに米山の学友も加わった。間口を大きく広げたことが良かったと思います。そして、日本人と外国人が共に国際交流をしながら、奉仕活動をしていく姿が素晴らしい使命です。
●若い方の頭脳は柔らかく、多様性や発想力がすごいと思います。これから10年後、若い日にロータリーで育った若者が、どんなロータリアンになって、国際交流や国際親善、新世代奉仕の輪を育んでいくか、とても楽しみです。

強固な信念と、周到な予測と。

中里公造クラブ拡大補佐

●私は今までの長い経緯の中で、ある時、国際親善奨学生の学友幹事が「協力は出来ない」と言った時のショックを今でも覚えています。とにかくまだまだこの考えがなじんでおらず、彼らは彼らで忙しいわけです。いかに拡大への運び方や段取りが難しいかを痛感しました。
●今回はなぜ成功したのかというと、田村拡大特別委員長の強固な信念があり、強固なイメージがあったわけです。「どこで皆が悩み、どこで壁にぶつかり、どう解決するか、させるか」という想定を持って、その先の明るい展望への信念があったから出来たのだと思います。
●設立までの多くの仮例会をやりましたが、学友が忙しくてなかなか集まれない。拡大補佐の人数が多い。そこで倉金君が危機感を持って訴えたこともありましたが、そういう時でも田村拡大委員長の「ぶれない安定感と、優しい説得力」が功を成したと思います。
●今年の1月26日に「春節を祝う会」があり、日本人も、中国人も、韓国人も、ミャンマー人も、みんなで餃子をつくっている姿を見たとき「一緒に仲良く溶け込んでいる。まったく違和感がない。このクラブはもう大丈夫だ」と、確信しました。

大丈夫、必ず出来るというオーラ。

遊馬久治クラブ拡大補佐

●去年の7月から仮例会は16回を数えましたが、なかなか集まらないという苛立ちもありました。毎回、決めなければならない細則などがありましたが、学友が少ない中で進んでいく。これで運営

出来るのかと、拡大補佐も学友も大変不安でした。
●しかし「○○だから出来ないではなく、まずは自分たちの考えでやって見ようじゃないか」という田村拡大特別委員長のポジティブなリーダーシップで、みんながだんだんに固まっていきました。
●挫折や不安をみんながはき出し、共有し、「田村拡大特別委員長の言うとおりに考えれば出来るじゃないか」という有意義なプロセスがありました。田村拡大特別委員長の「大丈夫、認証される頃には必ずまとまる」という言葉通り、絆はだんだん太くなり、さいたま大空 RC が誕生しました。

ロータリーと共に人生を変える。

李成哲さいたま大空 RC 会長（リセイテツ・中国）

● 2005−6 年度度、米山奨学生でお世話になり、学友会長も 4 年間させていただきました。私は日本で米山奨学生となって、人生を変えた人間です。
●もし米山奨学生に選ばれていなかったら、私は学校とバイト先と下宿の 3 カ所で暮らし、卒業したら即刻中国に帰っていたと思います。それが、学友に選ばれ、日本人を知り、日本を知り、里親に世話になって、日本にご恩返しの気持ちで、日本に止まりました。
● 17 回の仮例会の中で、みんなも考えが変り、ひとつにまとまり、今日を迎えています。私の人生は、ロータリーの導きでまた大きく変ります。
●チャーターメンバーは、ロータリー財団が 8 名、米山学友が 15 人の 23 名です。国籍は、中国・韓国・台湾・ミャンマー・ベトナム・日本の 6 カ国。平均年齢は 35.5 歳です。この私たちで、ボーイスカウトの少年たちとの交流など、新たな国際交流がはじまっています。何が出来るか、何をしたいか、新しい未来を、米山・財団の学友混在という新しいカタチのクラブで見つけていきたいと思います。



例会場での李会長のあいさつ。さまになってきました。

どしゃ降りの中、気持ち固まる。

李芝善奉仕委員長（イージソン・韓国）

● 20046 年度、米山奨学生でお世話になりました。日本の高校や大学で、韓国語と韓国文化を教え、源氏物語の研究もしています。


ボーイスカウトの子供たちとの交流例会の様子です。

●「もしかしたら学友のロータリークラブが出来るかもしれない。でも無理だろう」という噂はかねてからありました。それがいよいよ本決まりとなりました。私としてはロータリーに恩があるので、参加はしたい、でも経済的に難しい。その狭間の中で、「もう少し頑張って仕事を増やせばいけるかもしれない」と思いました。
●昨年の夏のことでした。決起委員会のようなものを上野精養軒でやることになり、上野の山を歩いている時に猛烈な夕立に遭い、バケツの水を被ったような状態で精養軒に入りました。みんな服のままプールから上がったようなびしょ濡れです。その中を集まったという体験が、マインドアップさせたような気がします。
●また、昨年「韓日親善会議」に初めて参加しましたが、韓日の大きな友情の渦の中に触れて、感動したのも大きなモチベーションです。設立までは波乱万丈でしたが、そういうことを踏み越えて今があるんだな、と思います。

強い愛、強い気持ち。

倉金由幸会長エレクト（日本）。

●私は、2011−12 年度の VTT で 11 日間インドに行かせていただいた人間です。しかも英語が出来ません。英語も出来ずに、VTT の試験に合格したのは私くらいではないかと言われています。
●「言葉は通じなくても、君なら大丈夫」を試験官に言われた通り、ボディランゲージで親善も交流もできます。たった 11 日のつきあいは、その後、インド 3000 地区に、3 何連続で行くことになったほど深いものになりました。
●李会長の翌年は、私が会長を務めます。設立までには、人一倍危機感を持ち、クラブの在り方も考え、問題点を訴えても来ました。だから、これからどんなカタチで進むべきか。どう動くのかと人一倍楽しみ。お楽しみはこれからです。

『クラブ研修リーダーセミナー』ご報告



管理運営部門委員長　宮澤　英修（鴻巣RC）

２月13日に浦和コミュニティーセンターにおきましてクラブ研修リーダーセミナーを行いました。当日は61名の参加をいただきありがとうございました。

渡邊ガバナー、岩渕研修リーダーの挨拶をいただきその後、趣旨説明を行いセミナーを開始いたしました。

前半は田中担当諮問より「クラブ研修リーダーの必要性と会員増強維持」というテーマで講演をいただきました。ロータリーは楽しくなければならないとの内容を映像を使いながらわかりやすくお話をいただきました。

後半は参加者を６グループに分けてテーブルディスカッションを行いました。各クラブ会員数や年齢層、歴史等、かなりの温度差がありますので、さまざまな意見が活発に発言されました。今回の目的はこのセミナーで得た情報をクラブに持ち帰っていただきクラブに当てはまる良い事を周知、実践してもらうところにあります。当日参加されたクラブ研修リーダーの皆様におかれましては、宜しくお願いいたします。











それではここで当日のテーブルディスカッションで出た内容を箇条書きにして紹介したいと思います。

・早期退会者が多いためクラブ内にしっかりした研修リーダーを置きこまめに研修を行う。
・研修は例会にこだわらず、夜、やわらかい雰囲気の中で行いロータリーを好きになってもらうことから始める。
・新入会員と１対１で行う。
・ロータリアンという意味もわからないで集まっているので、まずはお互いの親睦、理解を深める。
・たとえば年間４回とか計画をして定期的に研修を行う。
・年齢差があるクラブは年代別に研修を行う。
・ロータリーは奥が深く勉強する事が多いので、少しずつ教えていく。
・まずはロータリーの素晴らしさを知ってもらう。
・新入会員には基礎をベテラン会員には最新情報を提供する。
・RLIに参加させてロータリー全般の教育を受ける。

など、ほんの一部ですが、このような意見が発表されました。冒頭に書きましたが、各クラブの事情や条件で解釈が相当異なるとは思いますが、スケジュールをたて無理の無いクラブ研修はきわめて重要であることは間違いありません。

当日、参加されたクラブリーダーの方におかれましては、ロータリーのエキスパートとして、早速、計画、実行をお願い申しあげます。

2014-15年度　地区チーム研修セミナー　報告

LIGHT UP ROTARY「ロータリーに輝きを」

次年度地区幹事　恵川　一成（大宮シティRC）

2014年2月18日（火）市民会館うらわにて地区チーム研修セミナーが165名の登録を頂き、10時30分　濱野英美ガバナーエレクトの力強い点鐘により2014-15年度のスタート準備が出来ました。出席者の紹介、そして渡邊和良ガバナーの次年度に向けて心のこもったご挨拶、次に森田武司次年度研修リーダーより研修リーダーの指導要領の変遷についてのお話につづき、濱野英美ガバナーエレクトより、サンディエゴで本年1月に開催された国際協議会の報告があり、次年度ＲＩテーマと地区運営方針の発表がされました。ゲイリーC.K.ホァンＲＩ会長エレクトが2014-15年度のＲＩテーマを「ロータリーに輝きを」と発表され、ローソクを灯すのがロータリーです。「私が1本、あなたが1本、こうして120万人の会員全員がローソクを灯しましょう。力を合わせれば世界を光で輝かせることが出来るのです。」と訴えられた事や、次年度ＲＩ会長の活動方針の詳細な説明の後、次に地区活動方針として「ロータリーはひとづくり　そして奉仕」を地区スローガンとして、「どんな小さな奉仕活動でも結構です。地域社会で国際社会で奉仕活動を推進しましょう。」と話され地区運営方針を詳細に説明されました。

昼食後、部門セッションを行い部門委員長を中心に委員との活発な意見交換がなされましたことは、次年度に対し熱き情熱を感じました。

続く第2本会議では9部門の部門委員長より協議内容の部門報告が、時間内で詳細に説明され、渡邊和良ガバナーの講評と激励のご挨拶を頂き、実りのある地区チーム研修セミナーを開催することが出来ました。

17時からロイヤルパインズホテルに移動し懇親会を開催。会場に溢れるほどの会員に残って頂き、和やかな・さわやかなムードで過ごすことが出来ました。

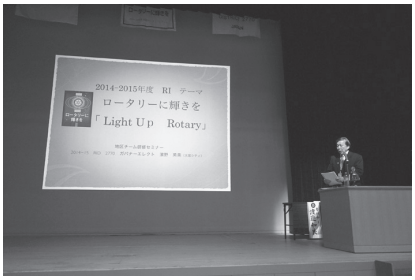
多くの皆様のおかげをもちまして滞りなく終了出来ました事をご報告いたします。











青少年交換派遣学生の報告

スポンサークラブ：春日部西RC
派遣学生氏名：太田　樹里

1）健康状態：元気です。

2）通学・勉学状況：

３学期の授業もあっという間に終わり、試験も無事に終えることができました。今回の試験は生物と英語と数学でした。生物は英語と少し簡単なフィンランド語を使う問題を先生が作ってくれました。

フィンランドでの試験は、１日に１科目で制限時間はとても長く、解き終わった人から教室を出ていくという形です。試験も暗記やスピードを重視しているというよりも、公式や知識をどう使ったらいいのかという事を生徒によく考えさせるような問題が多く、思考力を伸ばしていくような試験だと思います。

４学期は英語・数学・歴史・母国語(フィンランド語)・音楽の授業を取りました。まだ４学期が始まって日が浅いですが、今までに取っていなかったようなタイプの教科が多いので新鮮で楽しいです。

フィンランド語のクラス１の試験の結果がパーフェクトで返ってきました。易しめの試験だったのですがやはり嬉しかったです。クラス２も始まって、毎日少しずつ会話の幅が広がっていく感じがします。

3）家庭生活：

凍った海の上を散歩しに行ったり、スケートをしたりと雪国ならではの過ごし方を沢山教えてもらいました。またお菓子をホストシスターと作ったり、作ったものを一緒に食べたりとゆったりと過ごしています。

Espooというヘルシンキからバスで40分ほどの所にある３つめホストファミリーの家に行き、顔合わせとお話しをしました。マザーは日本人とフィンランド人のハーフですが、日本語は喋らないそうです。ホストブラザー２人とホストシスターが１人。３人とも中学生以上なので私に関わってくれるか今から少し心配です。

4）ロータリーの行事参加：

Fazerというフィンランドの有名なチョコレート会社の工場見学に行きました。工場見学というと製造過程が見られるのかと思っていたのですが短いムービーと案内パネル、試食という形でとてもさっぱりとしていました。

5）その他：

１月の11日から本格的に雪が降り始めました。マイナス15度以下だと顔が痛いなと感じるくらいで、マイナス３度くらいまでになると今日は暖かいな、と思えてしまいます。

学校のダンスパーティーが近付いてきて、パートナーが中々見つからなかった為に皆より練習時間が少なくその点で少し不安はありますがとても楽しみです。

スポンサークラブ：川口北RC
派遣学生氏名：上野　梓

1）健康状態：今まで通り変わりありません。

2）通学・勉学状況：

ホストファミリーが変わっても学校は変わらないので、今まで通り、通っています。遠くなってしまったので少し大変ですが、バスの長旅も嫌いではありません。

ドイツ語のレッスンは週二から週一になりましたが、わたしは以前と変わらず一生懸命勉強しています。何もかもが遠くなったので、自分の時間が減ってしまい、家での勉強は少し減りましたが、学校などでちゃんとやっているので、問題はないと思います。

3）家庭生活：

家族が一気に増え、ずいぶんにぎやかになりました。わたしは前は１人でいることが多かったですが、今は家には誰かがいて、ごはんの時や空いてるときには、お話をしたりできて楽しいです。また、このお家では何人も留学生を受け入れたことがあるそうで、家族みんながフレンドリーに接してくれます。ママは、いつも話してくれたり、ドイツ語をちゃんと教えてくれますし、弟たちともサッカーしたり、とても楽しく、生活しながら、ドイツ語の上達に励んでいます。本当にこの家庭に来れてよかったです。

わたしはいつも、「大きな声で話さないと！」と言われます。なかなかまだ難しいですが、頑張っていきたいと思います。

4）ロータリーの行事参加：

今月はありませんでしたが、ちょうど明日から、語学合宿というものに行ってきます。勉強もしつつ、観光などもあるそうなので、楽しみもありますが、少し緊張もしていますが、頑張ります。

5）その他：

ホストファミリーが変わってから、すべてが変わり、慣れるのに大変だったり、正直すごく忙しくはなったと思いますが、私にはこのくらいがちょうどいいのだと思っています。日本にいる時も、忙しかったので、このくらいでやっとなんだか、毎日を生きているという感じがします（笑）兄弟もいて、とても癒されたり、楽しかったりして、過ごせていて、本当にうれしいです。帰るまで変わらなくていいと思います。

３月にはプレゼンも控えているので、それに向けてしっかり準備しつつ、ドイツ語もしっかり身に着けていきたいと思います。日本にいるみなさんも頑張ってください。

帰国するまでご支援よろしくお願いします。

スポンサークラブ：上尾西RC
派遣学生氏名：新井　夏奈子

1）健康状態：毎月報告している腹痛以外に今月は鼻血が多かったです。留学してから何回か出ることがありましたが、今月は比べ物になりません。乾燥と寝ている時の暑さが原因だと思います。暖房器具による乾燥で喉を痛めたり鼻血が出たり、暑さで鼻血が出たりします。しかし、実際決して暑くはありません。暖かい程度です。ただ一度出てしまうとまたすぐ出やすくなるので暖かいくらいで鼻血が出てしまいます。かといって寝る時に涼しくしようとすると逆に寒くてお腹が痛くなります。どうしようもないです。

2）通学・勉学状況：

フランス語学校でいきなりクラスメイトが増えました。そのため二人の先生に交代で教えてもらう形になりました。フランス語学校での勉強はスムーズになったように思います(内容を理解したり、分からない単語を自分で調べる等)。ただ分からない単語を調べる前にフランス語で説明されると逆に謎が増えます。誰かとフランス語で会話をしようとしても頭の中で考えて構成した文を伝えることができても、それに対して相手がネイティブスピードで返すと着いていけません。普通学校でも友達が二人増えました。

3）家庭生活：

年越しの期間にホストファミリーとフランスにスキーをしに行きました。初日、私はホテルにいて、二日目にスキーに参加しました。しかし、三回程盛大に転びトラウマになったのでそれ以降ずっとホテルで留守番していました。フランスに行ってまで勿体無いとも思いましたが、転ぶのも滑り落ちるのも嫌だったので…。その代わり留守番中に同じく留守番していたホストマザーがお店に連れて行ってくれたので、キーホルダー等を買いました。(ホストシスターの子供もいたので、ホストマザーはお守役です。)そのままフランスで年を越しました。駄菓子屋さんに売っていそうなアイテムで盛り上がっていました。行事があると必ず誰かしら踊っている人がいます。最近友達と遊んでいない気がするので誘ってみます。

4）ロータリーの行事参加：

今月行事はありませんでした。例会も不参加です。

5）その他：

日本から両親が送ってくれた荷物の片方に157.70€(約２万円)の関税がかけられました。郵便局に行って税関の電話番号を聞き電話しましたが、その相手は税関ではないようでした。郵便局で二回電話番号を聞きましたが同じ番号を教えられたので郵便局から本当の税関の番号を聞くのは無理そうでした。その上郵便局での荷物の預かり期間終了が迫っていたので取り敢えず支払って受け取りました。

IM報告　第６グループ

クラブ奉仕PJ活動報告



第６グループ　ガバナー補佐　栗原　偉憲（杉戸中央RC）

インターシティミーティングを２月１日（土）杉戸ピアで開催。３部構成で行いました。１部（13時30分開会）では、「NHK交響楽団による演奏会」を15時まで開催。杉戸町の吹奏楽や弦楽部の中学高校生を約100人招き一般とロータリークラブ会員合わせ300人の聴衆で一流の音楽に触れることが出来ました。今回ホストクラブである杉戸中央ロータリークラブが継続的に行っている奉仕PJの一環として行いました。

２部では、来賓として国際ロータリー第2770地区渡邉和良ガバナー及び杉戸町町長古谷松雄様よりご挨拶を頂き、各７クラブの会長による「活動報告」をさせて頂きました。

第３部においては、新年会を兼ねて親睦会を開催。IMの目的であるグループ内における会員相互の親睦と面識を広め会員にグループ内のロータリー情報を伝えることができました。

実行委員会また各地事務局各位のご協力とご参加して頂いた皆様に感謝申し上げ報告といたします。









IM報告 第４グループ

インターシティミーティング第２部・新年懇親会開催



第４グループ　ガバナー補佐　木本　栄一（大宮西RC）

第４グループの今年度のインターシティミーティングは第１部バザー、第２部新年懇親会の日を違えての開催となりましたが、平成26年２月３日（月）インターシティミーティング第２部として、パレスホテル大宮において、新年懇親会を開催致しました。清水勇人さいたま市長、埼玉中央青年会議所本家亘二副理事長、渡邊和良ガバナー、濱野英美ガバナーエレクトをお招きし、第４グループ・７クラブのロータリアン、米山奨学生、青少年交換留学生、事務局員の総勢160名にお集まり頂き盛大に開催する事が出来ました。

その１セレモニーでは第１部バザーの模様をビデオで放映し、バザーに参加できなかった方々にも楽しんで頂きました。清水勇人さいたま市長には、バザーの売上げによるサクラの苗木をさいたま市へ寄贈するための目録をお渡し致しました。（さいたま市では「目指せ日本一サクラサク見沼田んぼ」計画を実施中です。）これは第４グループ７クラブのロータリアンの汗をかいた合同奉仕の賜物です。

その２懇親会では、さいたま市出身のジャズサックス奏者・堤智恵子グループによるジャズ演奏を楽しみながら大いに懇親を深める事が出来ました。

ご出席の皆様を初めIM実行委員会の皆様、会長・幹事の皆様、事務局の皆様、関係各位に心からお礼を申し上げます。有難うございました。







IM報告　第１・２グループ

第１・第２グループ合同IM開催報告




第１グループ　ガバナー補佐　佐藤　美好（浦和中RC）
第２グループ　ガバナー補佐　小山　一宏（さいたま中央RC）

２月８日（土）浦和ロイヤルパインズホテル４階ロイヤルクラウンにおいて、第１・第２グループ合同IMを開催した。このIMには、浦和西ロータリークラブ及び熊本ロータリークラブがホストした、元青少年交換留学生の在日米国大使館の公使２名を講師にお招きし、その成長した姿を目の当たりにして青少年奉仕事業の意義深さを再認識していただく予定であった。

IMのテーマは、「毎週一回の例会に出席して心をみがき、みがかれた心を自分の職業に生かし、他人のために尽くすという思いやりのこころを育てる」というあるロータリアンの記事をヒントに「人間を磨こう～ロータリー」とした。IMはいわば第１・第２グループ合同の例会。米山梅吉翁の「ロータリーの例会は人生の道場である」の言葉の「道場」で行うことは「人間を磨く」ことと考え、自分だけでなく他のロータリアン、ロータリアン以外の若い世代や将来新会員になる方も含め、私たちと私たちの周りにいるすべて人の心を磨こうとの思いを込めた。

IM当日は、早朝から降り続いた雪で、午後７時にはさいたま市で１２センチを記録する積雪となり、京浜東北線をはじめ交通機関の運転見合わせや運休が相次ぎ、講師の交通手段が断たれるという最悪の事態となった。このため予定していた第１部の講演会の講演を取り止め、残りのプログラムと第２部の交流会のプログラムに限定して、予定の８時15分を約２時間繰り上げ終了することとした。このためホテルやアトラクション出演者と何度も打合せ、食事やアトラクションを１時間半ほど早め、知事と市長の御出席予定も到着時間が終了間際となるため遠慮させていただいた。

キャロライン・ケネディ氏の駐日大使就任もあって、米国大使館の公使の講演を期待されていた方が多く、人為の及ばない事象であったにせよ、その期待を裏切ることとなり、主催者として心からお詫び申し上げる次第であり、満身創痍の心境である。しかしながら、あの悪天候で１００名前後と思われた参加者予測をはるかに超える２４４名の方に御出席いただき一人の事故もなく終えることができたこと、外は２０年ぶりの大雪と吹雪の冷たく凍える中、敏いとうとハッピー＆ブルーの懐かしのムード歌謡曲に酔いしれ、会員の親睦と友情をしっかりと暖め、参加者全員の心の奥にこのＩＭを深く刻むことができたことはせめてもの救いであった。

IMの準備に御協力いただいたIM実行委員会の方々と当日参加していただいたガバナー、パストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーそして会員、事務局の皆様の熱意と友情に、第２グループガバナー補佐小山一宏氏とともに心から感謝を申し上げ合同IMの報告に代えさせていただきたい。





クラブ事業報告

卓話者バンクによる卓話報告

越谷北 RC　プログラム委員会　委員長　　大熊　正行

近時、日中関係、日韓関係について、種々の論議がなされているところです。その中でも、大国となった中国と今後どのように付き合っていくのかという問題は、日本の将来を考える上で、非常に重要なテーマです。

そこで、当クラブでは、2013年12月25日の例会に、国際ロータリー第2770地区の卓話者バンクより、日中関係に精通した伊藤信男会員（川口北東RC）を卓話者にお招きし、「日中友好交流の現状と課題」と題して、日中間における経済交流から文化交流等の活動報告等の卓話を実地致しました。

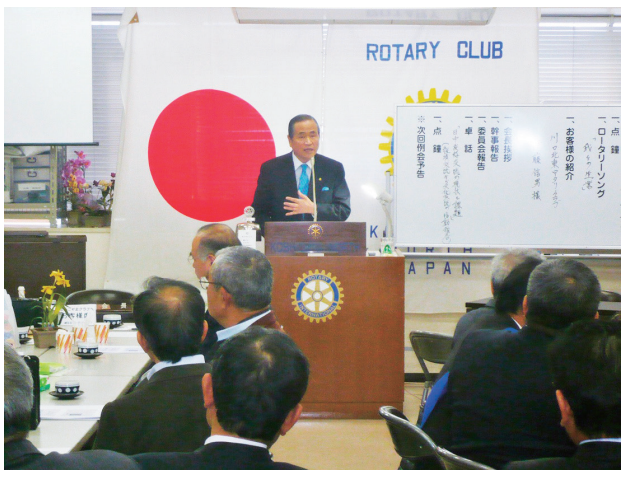
伊藤信男会員は、国際ロータリー第2770地区資金推進委員会の委員も務められ、NPO法人日中倶楽部をはじめ、５つのNPO法人と１つの株式会社に携われております。また、伊藤信男会員は、４期16年に及ぶ市議会議員の経験とネットワークを活かし、市民に対するご恩返しとして高齢者・障がい者の総合支援を通じて地域貢献を目指しておられるとのことであり、卓話でも、地域貢献や社会奉仕に対するそのお考えやお人柄が伝わってきました。

卓話では、日中国交正常化、日中平和友好条約締結といった歴史的出来事から、現在の習近平体制の国家機構を概括された上、日中関係の現状・課題について、まさに伊藤信男会員のように現実に日中の交流に携わっている方でなければお聞きできないような貴重なお話をたくさん聞かせて頂きました。

そして、日中文化交流・経済交流の実際についてもお話頂き、そのような取り組みが、人民日報の海外版でも大きく取り上げられていることをご報告頂きました。また、周恩来総理の言葉に「民を以って官を促す」とありますが、政府間に困難があっても、民間の交流を盛んにして状況を変えていくことが大事であると強調されました。更に、様々な問題を抱えている日中関係ですが、経済・文化交流を通じ、相互理解を深め、相互の信頼関係の構築を目指す姿勢を失ってはならず、近視眼的な見方にとらわれることなく、隣国として、世界という枠組みの中で考えていかなければならないのだと改めて考えさせられました。

当クラブでは、今回、初めて卓話者バンクを利用させて頂きましたが、会員からも大変好評であったことから、今後も卓話者バンクを活用させて頂こうと考えています。

卓話を頂きました伊藤信男会員、また地区の卓話者バンク管理運営部門の皆様、本当にお世話になりました。



川口七福神巡り報告

川口東 RC　会長　　小林　忠夫

川口東ロータリークラブでは、新春1月21日大寒に移動例会川口七福神巡り「新年 身体健全 福を頂戴 川口市内にある薬師霊場と七福神霊場巡拝」を豪華貸切バスにて巡拝いたしました。当日は大変お忙しい中、渡邊和良ガバナー 丹井亮一職業奉仕部門委員長のご参加を頂き会員一同、ロータリアン魂と情熱に感激しました。

また当日は偶然にも渡邊ガバナーのお誕生日ということで、一緒にお祝いさせていただきました。

















ロータリー財団


大口寄付 29,200$
井原　實
(さいたま新都心)
平成25年12月20日


大口寄付 28,601.41$
福田剛紀
(浦和北)
平成25年12月26日

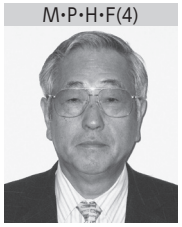

大口寄付 18,000$
瀧田大樹郎
(越谷)
平成26年1月29日

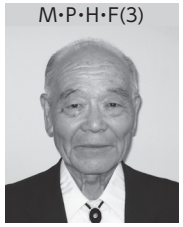

M・P・H・F(7)
高橋誠一
(大宮西)
平成26年1月30日

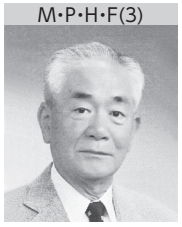

M・P・H・F(5)
宮本和寿
(岩槻東)
平成25年12月27日

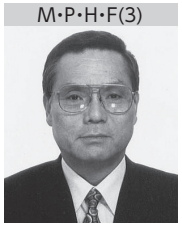

M・P・H・F(4)
大関豊壽
(浦和北東)
平成25年12月26日


M・P・H・F(4)
橋本成喜
(岩槻中央)
平成25年12月29日


M・P・H・F(4)
成田光安
(鳩ケ谷)
平成26年1月24日


M・P・H・F(3)
飯田弥寿嗣
(越谷東)
平成25年12月17日

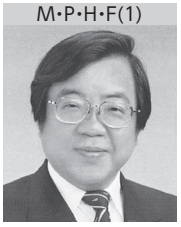

M・P・H・F(3)
明石寿也
(戸田西)
平成25年12月25日


M・P・H・F(3)
中島賴光
(越谷南)
平成26年1月31日


M・P・H・F(2)
浅水輝子
(越谷東)
平成25年12月17日

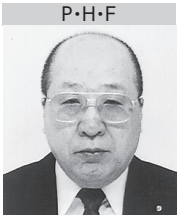

M・P・H・F(2)
栗田晴己
(越谷東)
平成25年12月17日

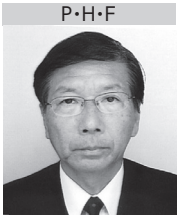

M・P・H・F(2)
林　一男
(草加中央)
平成26年1月20日


M・P・H・F(1)
山崎雅俊
(戸田西)
平成25年12月25日

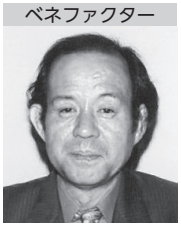

M・P・H・F(1)
清水克悦
(大宮南東)
平成26年1月23日


P・H・F
竹内明義
(草加中央)
平成26年1月20日


P・H・F
大澤辰男
(八潮)
平成26年1月29日


P・H・F
小島　徹
(大宮西)
平成26年1月30日


ベネファクター
葭谷広行
(浦和西)
平成25年12月24日


ベネファクター
堀口文治
(浦和北東)
平成25年12月26日


ベネファクター
新井　進
(越谷)
平成26年1月29日

米山奨学会


米山功労者メジャードナー(22)
中里公造
(川口モーニング)
平成26年1月28日


米山功労者メジャードナー(20)
駒﨑繁夫
(戸田西)
平成26年1月29日


米山功労者メジャードナー(19)
田村亮夫
(川口モーニング)
平成26年1月28日


米山功労者マルチプル(8)
橋本昭司
(大宮南)
平成26年1月31日


米山功労者マルチプル(5)
江原一也
(上尾北)
平成25年11月1日


米山功労者マルチプル(5)
星野　賢
(上尾北)
平成25年11月1日


米山功労者マルチプル(5)
成田光安
(鳩ケ谷)
平成26年1月24日


米山功労者マルチプル(5)
須賀定吉
(越谷)
平成26年1月29日


米山功労者マルチプル(4)
矢作文夫
(岩槻東)
平成25年12月27日


米山功労者マルチプル(3)
根本邦通
(川口シティ鳩ヶ谷)
平成26年1月27日


米山功労者マルチプル(2)
金子英男
(岩槻東)
平成25年10月22日

米山功労者マルチプル(2)



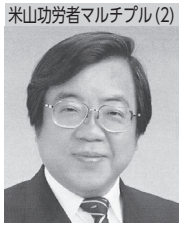
藤堂　昇
(岩槻東)
平成25年10月25日

米山功労者マルチプル(2)



岡部成一
(戸田西)
平成26年1月24日

米山功労者マルチプル(2)



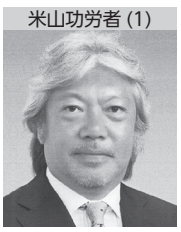
山崎雅俊
(戸田西)
平成26年1月24日

米山功労者(1)



小山重治
(戸田西)
平成26年1月24日

米山功労者(1)



村田　実
(戸田西)
平成26年1月24日

米山功労者(1)



吉野寛治
(越谷)
平成26年1月29日

新会員



成清博之
(三郷)
平成25年10月25日入会
(株)ショーテック
建設業



小岸昭義
(三郷)
平成25年11月15日入会
(有)小岸興業
建設業(足場工事)



陳　飛
(さいたま大空)
平成25年11月25日入会
㈱インテリジェンドウェイブ
システムエンジニア



道下秀世
(戸田)
平成25年12月2日入会
ニーズシェア(株)
IT・ソフトウェア事業



辻本昭夫
(八潮みらい)
平成25年12月21日入会
(株)秋月電子通商
電子部品製造・販売



小山健一郎
(蓮田)
平成26年1月8日入会
(株)VOX　POP
特殊印刷・加工



鈴木清美
(越谷)
平成26年1月14日入会
花々
美容業



田中芳明
(岩槻)
平成26年1月16日入会
(有)石忠
石材業



栁　寿美恵
(浦和北東)
平成26年1月21日入会
(株)生きいき
介護



小倉英行
(八潮イブニング)
平成26年1月21日入会
(有)小倉商事
石油製品販売



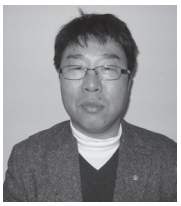
西川海幸
(春日部西)
平成26年1月23日入会
興隆商事(株)
有価物業



川口敏一
(春日部イブニング)
平成26年1月28日入会
川口紙器
ビニール加工業



小林久純
(春日部イブニング)
平成26年1月28日入会
Q;s dental clinic
歯科医



朴　晒吾
(八潮みらい)
平成26年1月30日入会
(株)東光モールド
プラスチック金型製造



福島　浩
(大宮)
平成26年2月5日入会
(株)大宮マシナリー
工作機械製造



榎本貞寿
(大宮西)
平成26年2月10日入会
(有)埼新鐵工
建設業

訃報 ◆ 謹んでお悔やみ申し上げます。



石山謙二 様
平成25年12月16日
享年 70 歳



藤田達夫 様
平成26年2月1日
享年 67 歳

文庫通信
(317号)

◈ **ロータリー最近の文献より**(2)◈

◎「『奉仕の理想』をめぐって　その2」
本田博己　2013　4p（D.2840 月信）
◎「『四大奉仕』がどうして『五大奉仕』になったのか？」
本田博己　2013　3p（D.2840 月信）
◎「『職業奉仕』はロータリーの根幹か？」
本田博己 2013　4p（D.2840 月信）
◎「地区大会　その1～3」　深川純一　伊丹 R. C.2013
3p（純ちゃんのコーナー Part Ⅻ）
◎「ロータリーの歴史年表」　諏訪昭登　2013　7p
◎「JUSTICE in The ROTARY ロータリーの正義」
田渕水作夫　2013　69p
◎「あかあかや　あかあかあかや」　市川伊三夫〔2006〕2p
（ガバナー所感集）
◎「近頃の世相に想うこと」　市川伊三夫　〔2006〕　2p
（ガバナー所感集）
［上記申込先：ロータリー文庫］

◎「国際ロータリー日本人 RI 理事と日本ロータリー 93 年の流れ」　前岡志郎　2013　8p
［申込先：前岡志郎 FAX(0977)26-1444］

2013～2014年度　1月　会員数及び出席率報告

グループ	クラブ名	2013年7月1日現在	内女性	当月末会員数	内女性	増減	目標純増	通算純増	当月 出席率	当月 順位	通算出席率順位
第一グループ	浦和	112	1	113	1	1	6	3	86.70	30	36
	浦和東	81	3	78	3	−3	4	0	91.06	15	6
	浦和南	25	0	24	0	−1	3	0	88.40	20	14
	浦和中	35	2	35	2	0	3	0	95.69	2	10
	浦和ダイヤモンド	25	7	25	7	0	5	1	92.77	9	11
	第1グループ計	278	13	275	13	−3	21	4	90.92		
第二グループ	浦和北	71	6	73	6	2	7	7	93.30	7	50
	さいたま中央	49	2	46	2	−3	3	1	83.70	44	45
	浦和西	19	2	19	2	0	7	0	65.79	75	72
	浦和北東	44	2	45	2	1	7	1	72.51	70	70
	さいたま新都心	41	0	42	0	1	2	1	87.30	28	21
	第2グループ計	224	12	225	12	1	26	10	80.52		
第三グループ	大宮	67	0	70	0	3	3	8	87.62	24	49
	大宮南	39	6	37	6	−2	5	2	83.78	43	48
	大宮中央	46	0	48	0	2	5	3	83.85	42	54
	大宮南東	9	5	8	5	−1	4	1	79.20	58	63
	大宮シティ	68	4	72	4	4	8	5	85.42	35	53
	さいたま欅	19	1	23	2	4	10	4	80.45	57	52
	さいたま大空	0	0	23	10	23	0	24	73.91	66	77
	第3グループ計	248	16	281	27	33	35	47	82.03		
第四グループ	大宮西	87	4	85	4	−2	9	4	76.51	61	58
	岩槻	29	4	30	3	1	5	2	60.60	76	76
	大宮北	22	1	24	1	2	5	2	89.47	17	24
	大宮東	36	0	34	0	−2	3	0	88.92	18	40
	岩槻東	28	1	27	1	−1	3	0	80.74	56	56
	大宮北東	15	2	15	2	0	3	0	75.00	63	69
	岩槻中央	13	0	13	0	0	3	0	59.61	77	73
	第4グループ計	230	12	228	11	−2	31	8	75.84		
第五グループ	上尾	35	1	35	1	0	3	0	92.57	10	5
	鴻巣	24	1	22	1	−2	3	0	86.36	31	13
	桶川	16	0	17	0	1	3	1	79.11	59	68
	上尾西	39	0	46	0	7	6	7	93.29	8	8
	北本	9	0	9	0	0	3	0	94.45	5	9
	上尾北	25	0	25	0	0	3	0	94.79	3	3
	鴻巣水曜	30	4	32	5	2	5	2	88.28	21	23
	桶川イブニング	18	0	18	0	0	2	0	91.66	13	12
	第5グループ計	196	6	204	7	8	28	10	90.06		
第六グループ	春日部	41	0	39	0	−2	10	1	89.94	16	31
	杉戸	23	0	22	0	−1	3	0	87.42	26	26
	春日部西	30	1	31	1	1	5	2	87.73	23	32
	庄和	20	1	22	1	2	3	2	81.56	53	29
	春日部南	31	3	26	1	−5	5	0	84.86	39	16
	春日部イブニング	21	1	25	1	4	3	4	92.06	11	2
	杉戸中央	20	0	21	0	1	3	1	81.96	51	51
	第6グループ計	186	6	186	4	0	32	10	86.50		
第七グループ	幸手	43	1	42	1	−1	5	1	88.69	19	15
	蓮田	32	0	42	1	10	5	11	88.09	22	37
	久喜菖蒲	58	4	54	4	−4	6	1	78.01	60	55
	栗橋	9	0	10	0	1	2	1	69.37	74	59
	幸手中央	23	0	24	0	1	3	2	75.00	63	62
	第7グループ計	165	5	172	6	7	21	16	79.83		
第八グループ	越谷	82	4	85	5	3	6	4	82.58	48	35
	越谷南	52	4	52	5	0	5	4	83.18	45	30
	越谷北	53	1	53	1	0	5	1	83.15	46	47
	越谷東	49	7	50	7	1	5	1	82.50	49	44
	越谷中	16	0	19	2	3	5	3	85.26	36	64
	第8グループ計	252	16	259	20	7	26	13	83.33		
第九グループ	八潮	47	3	46	3	−1	5	1	85.47	34	20
	草加南	11	1	11	1	0	3	0	81.81	52	42
	八潮イブニング	27	2	28	2	1	3	1	85.71	32	43
	草加中央	20	0	20	0	0	3	1	85.00	37	25
	八潮みらい	25	0	27	0	2	3	2	87.32	27	33
	草加松原	33	2	34	2	1	5	1	71.54	73	67
	第9グループ計	163	8	166	8	3	22	6	82.81		
第十グループ	吉川	32	2	32	2	0	5	0	73.43	69	61
	三郷	31	2	35	3	4	3	5	82.64	47	39
	三郷中央	17	0	18	0	1	5	1	81.04	54	46
	三郷ウェンズデー	23	2	26	4	3	5	3	80.77	55	60
	松伏	14	4	14	4	0	3	0	94.64	4	7
	第10グループ計	117	10	125	13	8	21	9	82.50		
第十一グループ	川口	83	11	81	12	−2	5	2	73.78	67	71
	鳩ヶ谷	23	0	23	0	0	3	0	91.25	14	18
	川口東	20	0	20	0	0	5	1	94.36	6	22
	川口・鳩ヶ谷武南	26	2	26	2	0	2	0	85.52	33	27
	川口モーニング	26	1	29	1	3	5	3	87.07	29	4
	川口南	31	4	32	4	1	3	3	72.32	71	74
	川口シティ鳩ヶ谷	17	0	18	0	1	5	1	87.50	25	17
	埼玉ゆず	20	20	17	17	−3	0	2	74.66	65	75
	第11グループ計	246	38	246	36	0	28	12	83.31		
第十二グループ	戸田	52	6	51	6	−1	1	1	82.24	50	41
	蕨	23	1	27	2	4	1	4	85.00	37	38
	川口西	26	4	27	4	1	1	3	84.72	40	65
	戸田西	30	1	27	1	−3	3	0	98.95	1	1
	川口北	27	1	24	0	−3	5	0	84.25	41	34
	川口北東	19	2	22	2	3	5	4	73.44	68	28
	川口中央	13	2	13	2	0	2	0	91.67	12	19
	川口むさし野	17	1	18	2	1	3	1	72.22	72	66
	戸田イブニング	18	0	19	0	1	2	2	76.24	62	57
	第12グループ計	225	18	228	19	3	23	15	83.19		
	地区合計	2530	160	2595	176	65	314	160	83.49		